

# 令和6年度 第1回南箕輪村地域公共交通協議会 会議録

日時：令和6年5月20日（月）  
午前10時40分から  
11時30分まで  
場所：役場3階第1・2委員会室

出席者数：委員11名中10名（オンライン参加：佐藤委員）  
欠席委員：塚田委員

## 【進行 地域づくり推進課長】

### 1 開 会（地域づくり推進課長）

### 2 村長あいさつ（会長）

皆さん改めまして、引き続きよろしくお願ひいたします。

昨年度住民の住民へのアンケート調査を含めました交通基礎調査を行いまして、最終的にこの会議の場で公共交通計画の策定が決定しました。

南箕輪村が2020年と2050年を比較して人口が増えるとされた全国77自治体のうちの一つに、選ばれておりますが、中を見ている中でやはり熟年者の数が増えていくというところは避けられません。ぜひ先を見据えた公共交通計画というのを作りまして、住民の皆様が暮らしやすい地域を作っていきたいと思ひますので、皆様のご協力ご支援どうぞよろしくお願ひします。

### 3 協議事項

#### （1）役員の任命について

副会長：副区長会長      監事：山崎委員、伊藤委員

事務局長：高橋課長

#### （2）令和5年度事業報告及び決算報告について （資料に基づき、事務局説明）

（質疑等なし）

#### （3）令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について （資料に基づき、事務局説明）

（山岸委員）

新規路線等の運行とフィーダー系の補助申請がスケジュールに記載されているが、この新規路線等が補助対象の路線ということでよいのか。

（事務局）

想定としては、新規路線が対象路線となりますが、まだどのようなものを運行

していくのかわからないため、計画策定と同時並行で運行するものを考え、補助対象である場合は申請を検討していく形で考えている。

(会長)

せっかくの機会であり、素案作成まで時間もないため、事務局から計画素案作成に向けて、新規路線等も含めてどういったものを運行していくかを委員の皆さんにご意見をいただくべきと思う。私自身は、タクシー券を配布だけということも案としてあると思うが、タクシー事業者としては、いかがなものか。

(白川委員)

タクシー事業者としては、特に問題はないが、他の人に使われてしまう可能性はある。以前、深夜に福祉タクシー券を出されたことがあった。特にこちらとしては拒否できるものではないが、個人的にはそういった利用をされることは、高齢者福祉の施策という観点ではどうかと思う。

(会長)

その他事務局として確認したいことはあるか。

(事務局)

運行事業者として、こういった運行形態があるべきというものがあれば教えてほしい。

(福澤委員)

まずどういった人を乗せるかを想定する必要がある。高齢者であれば、病院や大芝高原という形であるが、それだと今の形と変わらない。2台体制という限られた車両数で考えていくとなるとやはり効率を考えてしまうため、利用者の使いやすさを考えるのは難しい。

(西津委員)

まず運行にあたって、計画に記載するかどうかはわからないが、乗務員の確保は必要である。また自社で運行している高遠線であれば主な利用者は高校生となるなど、ターゲットを明確にしていくことは大切である。またもう少し利用できる場面を周知していくべきだと思う。例えば大芝高原でイベントをするときに、何時のバスで到着して、帰ることができるといったことがわかれば利用者も増えるのではないか。

(白川委員)

空白地域を解消していくことが第一段階であると思っていおり、ある程度利用者が少ないというのも、仕方ないことであると思う。ここまで利用者が下がってきたら、利用促進をしたり、ルート変更を考えるなどしていくべきと思う。

(北澤委員)

朝夕は学生の通学向けの運行、昼は高齢者等の通院や買い物のための運行など時間帯に合わせた運行をしていくべきであると思う。また運転手として感じるのは、まっくんバスについては、朝からずっとエンジンをかけ続けているため、車両にかなりの負担がかかっていると思うため、そういったところも考えていくべきである。

(高梨委員)

利用促進について、PR をしていると資料に記載があるが、見かけたことがない。ぜひ広く周知をしてほしい。

(伊藤委員)

福祉移送サービスについても、現在、人手が不足している。勤務時間がまばら

で、午前中だけの勤務などにもなるため、収入面で折り合いがつかないことがある。また運転手の高齢化も進んでおり、安全性も課題の部分である。

4 その他  
(特になし)

5 閉会(副会長)